



2008年度 藤沢市青少年セーリングクラブ 活動報告
2009年度 藤沢市青少年セーリングクラブ 役員体制

2009.4.29

F S S C 事 務 局



1. クラブ員募集

2008年度は、FYAホームページ及び藤沢市広報紙「広報ふじさわ」によりクラブ員の募集



小学生3名、中学生2名入会 (前年から2名卒業、2名退会)

現在のクラブ員数 (2009.3.7現在)

中学生 : 13名 小学生 : 4名 合計 : 17名

経年変化

平成12年4月	藤沢市青少年セーリングクラブ発足	クラブ員 1名
平成13年4月	第2期生募集	クラブ員 3名
平成14年4月	第3期生募集	クラブ員 5名
平成15年4月	第4期生募集	クラブ員 7名
平成16年4月	第5期生募集	クラブ員 10名
平成17年4月	第6期生募集	クラブ員 11名 (1名卒業)
平成18年4月	第7期生募集	クラブ員 14名 (1名卒業)
平成19年4月	第8期生募集	クラブ員 19名
平成20年4月	第9期生募集	クラブ員 17名 (2名卒業)

2008年度は、クチコミにより2名の入会となった。

当クラブも現状中学生に会員が偏っている状況となっており、小学生会員の増員が課題となる。

しかしながら、近年は、少子化の影響により地域の青少年のスポーツクラブも人材募集に苦慮している現状がある。

また、セーリングというスポーツの特性から安全を考慮する必要があることから、一度に大量に新人を育成することは難しい。

よって、新年度も小学生を中心にバランスよく新人募集をしていきたい。



2008年度 開校式 (2008.4)



新規クラブ員練習模様 (2008.4)

2. 練習

(1) 通常練習

土曜日午後と日曜日を公式練習日として練習



練習延べ日程

土曜日 : 42 日
日祝日 : 44 日

①練習体制

初級クラスの練習については、主に父兄コーチが担当。中上級クラスについては専任のボランティアコーチが担当し高度なセーリングスキルをレクチャー

②練習メニュー

土曜日は、上級者を中心にセーリングテクニックの練習を実施。ボディバランス、フリー走行でのテクニック、波の中でのクローズの走り、振れタック、ブローの走り方 等をコーチング。

日曜日は、主にマークを打ちコース練習を実施し、初級者は、基本動作や、目的地早く安全にセーリングする技術、上級者は、マーク回航、タクティクス、スタート練習、ゴール直前の走り 等を意識してコーチングを実施した。

2008年度 FSSC練習日集計表

項目	曜日	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
練習日	土曜日	3	4	4	4	4	4	4	4	2	3	4	2	42
	日曜日	3	3	3	4	3	4	4	4	2	3	4	2	39
	祝日						2	1			1	1		5
	平日					3	1							4
小計		6	7	7	8	10	11	9	8	4	7	9	4	90
レース参加		4	4	3	3	2	2	1	1	2	1	0	2	25



2008.11.30 練習風景



2008.1.4 練習風景

(2) 自主練習

2008年度は、安全を考慮する中で、夏休み、冬休みを利用し、コーチ、父兄立会いのもと平日に自主練習を実施。さらなるセーリング技術の向上を図った。

3-1. レース参加

他クラブとの交流、自己のレベルの確認、技術の向上を目的にレース参加をおこなっており、本年も全国で開催される23のレースへ延べ175名が参加した。

こうしたレース参加のなかで、競技としての最終的な到達点としては、全世界で開催される「OP級大陸選手権」へ日本の代表として選考されることである。

今期は、OP全日本選手権の上位43名で競われる大陸選手権派遣選手を決定する『ナショナルチームの最終選考会』へは4名のクラブ員が参加した。

結果としては、今期力を伸ばした「渡辺駿」が12月にマレーシアで開催される「第19回 IODAアジア選手権大会」への選考内定を勝ち取った。



選考会終了後の渡辺駿選手と山下コーチ

2008年度 FSSC レース 優秀結果一覧

月	日	参加レース名	開催地	表彰者	成績
4月	6日	春風ヨットレース大会	江ノ島	渡辺 駿	Aクラス 優勝
				渡辺 聡	Bクラス 優勝
5月	4～5日	第28回日本少年少女オープンヨット大会(東日本地区)	山中湖	国見 彩乃	上級クラス 準優勝
	11日	浜名湖ジュニアオープン	浜名湖	渡辺 駿	Bクラス 準優勝
	30日	第3回山下杯少年少女ヨットレース	江ノ島	国見 彩乃	3位入賞
6月	15日	2008年第1回かもめレガッタ	葉山	大日向 遥喜	OP級 準優勝
				榊原 健人	小学生の部 3位
8月	3日	第18回藤沢市オープンヨットレース	江ノ島	榊原 隆太郎	藤沢市民の部 3位
	8～10日	第24回東北ジュニアヨット大会	山形	伊藤 優希	OP級 中学生優勝
9月	13～14日	2008年 OP級静岡県大会	浜名湖	渡辺 駿	準優勝

3月	20日～23日	2009年JODAナショナルチーム最終選考会	江ノ島	渡辺 駿	第19回IODAアジア選手権大会に選出
				国見 彩乃	26位
				大日向 遥喜	30位
				津久井 真帆	33位

3-2. レース参加 ＜レース参加模様＞

2008.4.6 2008春風ヨットレース(江ノ島)



スタート前の模様



兄弟でABクラス優勝という快挙を遂げた渡辺兄弟

2008.5.4-5 第28回日本少年少女オープンヨット大会 東日本地区大会(山中湖)



山下専任コーチからアドバイス



富士山から雲が降りると湖面はすぐ濃霧へ



準優勝した国見選手

2008.8.3 第18回藤沢市オープンヨットレース(江ノ島)



2マークに向かうFSSCの選手



新人の伊藤聖夏選手はマークボートで見学



藤沢市民の部3位で表彰される
榎原隆太郎選手

2008.9.13~14 2008年 OP級静岡県大会(浜名湖)



リーチングで帆走するOP
左3088榎原健人選手、右2995小林選手



夜は観音山でキャンプファイヤー



2日目の午前中は沢登りがセットになっている
楽しい大会。午後からは再びレース

2008.1.25 ミッドウィンターレガッタ(江ノ島)



寒さで江ノ島海域から望む富士山もクッキリ
レース中の選手は、富士山を見る余裕はなし



下マーク回航するOP 3114津久井選手



5位入賞で表彰される大日向選手

3-3. レース参加

<レース参加模様／2008年度 リビエラカップ 第26回 東日本OP級ヨット選手権大会(逗子)> 2008.8.22～24

東日本エリアのOPチャンピオンを決定する「東日本選手権」が今年も逗子マリーナで開催された。

今年の各選手は、大日向(遥)、津久井、国見、渡辺(駿)らが好調な成績を収めていたことから、今大会には相応の意気込みをもって望んだ。

また、辛くも全日本の出場枠を取得していない 小林、榊原(隆)、榊原(健)、伊藤(優)も、相応の順位と出場枠を確実に得るべく望んだレースであった。

さらには、長栄(万)、長栄(雄)、森田らの中学校3年生にとっては、これを機に受験への準備を行う為、最後のOP級における大会であり、彼らも優秀の美をかざるべく望んでいた。

こうしたなか、今年の葉山は、早い潮流と軽く触れ回る風を用意してFSSCのメンバーを待ち受けていた。

意気込みばかりが先行していた各選手は、3日間の軽い風に翻弄され、大日向(遥)選手の16位が最高位という、選手にとっては全く実力を出し切れず終わったと感じた大会であった。

とはいえ、大会上位を占めているのが、軽風に強い軽量の選手ではなくナショナルチームの選手であったことを考慮すると、FSSC各選手がメンタル面、技術面においてまだまだ鍛錬を行うべきことを実感した大会であり、その点では全日本に向けたモチベーションアップという点で大きな収穫があったといえる。



大会前は余裕の表情だったが...



今大会のFSSCも運営に大きく関与



リビエラリゾート様の協力による華やかなレセプション



マーク回航する伊藤(優)選手



2マークへ向かうオプティミストセラー



森田選手(左)、長栄万里選手(中)、長栄雄大選手(右)にとっては、受験準備にはいるため最後のOPの大会であった。

やはり中学3年生の大日向喜咲選手は、サポートボートから後輩を支援



3-4. レース参加

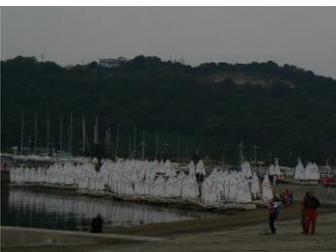
＜レース参加模様／第40回 日本オプティミストセーリング選手権大会(蒲郡)＞ 2008.10.31～11.3

2008年度も、クラブ員1年間のセーリング練習における集大成発揮の場として全日本選手権に出場。OP級における全日本選手権は、年間実施される各フリート主催レース及びOP級東西選手権において出場枠を獲得しなければ出場ができない。東日本選手権で成績が芳しくなく、出場が危ぶまれた選手も複数名いたが、最終的には



地元郷土芸能も繰り出した開会式

辞退者が出た中で、希望する者全てが出場することができた。盛大な開会式の後、1日目のレースを待ち望んだが、風がまったく吹かずこの日はNOレース。ハーバー近くのシーサイドリゾート「ラグーナ蒲郡」でレセプションが開かれ、初日の鬱憤を吹き飛ばすべく、選手はリラックスしていた。



初日は無風のためハーバー待機

翌2日目は、強風に恵まれレースをこなしていった。蒲郡の海面は、風が強く吹いても江ノ島ほどのうねりを伴う波はたたないが、それでも強風でのしっかりとしたセーリング技術がないと走れないことはいうまでもない。このコンディションでは体重の軽い子供達、中級の子供たちはなかなか厳しい戦いとなったが、選考会を狙う渡辺(駿)、国見、大日向(遥)、津久井といった選手はシングルの順位をとるなどし、全国区でトップレベルとはいえないまでも相応のレベルにいることを証明した。また、3日目以降の中風コンディションでは、榊原(隆)も全日本で初のシングルをとり、自信を深めた。さらに、小林、榊原(健)、伊藤(優)らも自分達の持つ技術を精一杯使い、健闘した。



快走する国見と津久井

こうした全日本選手権であったが、最終選考会に当初5人を送り込む目標であったが、4人が選考会出場権を得ることができた。

クラブ内での実力アップを図ったことが証明できたことと、成績が振るわなかった選手は来年への明確な目標を得ることができた大会であった。



レセプションの男子チーム(上)と女子チーム(下)



宿舎でも、全日本ではマジメにミーティング4位でフィニッシュした榊原(隆)



力走する小林



今回も父兄で頑張って運びました…

3-5. レース参加

＜レース参加模様／2009年度 JODAナショナルチーム最終選考会(江ノ島)＞ 2009.3.20～23

2009年度の世界選手権及びアジア選手権、北米選手権、ヨーロッパ選手権の各大陸選手権へ派遣する選手を選考するレースが、2009.3.20～24にかけて江ノ島にて開催された。

FSSCのメンバーからは、全日本選手権の上位42位以内に入った、渡辺駿、国見彩乃、大日向遥喜、津久井真帆の4名が選考会出場権を勝ち取った。

世界的にレースの際には15m以上の強風でも実施されるが、今回の江ノ島の選考会はまさに強風シリーズであった。これは、皮肉にもホーム開催という地の利を奪うに十分な強風で、17m以上の風ではさすがにクラブでも練習を行うことは難しく、地元開催のアドバンテージを活かすことができなかった。

しかし、見方を変えれば全ての選手の条件が一緒ともとれるわけで、この条件のなかFSSC代表選手では、渡辺駿選手が強風ではまずまず、中風では持ち前の強さを発揮しレース全体の成績をまとめ総合で8位という好成績を収めた。これにより、渡辺駿選手はアジア選手権への出場を希望し、内定を勝ち取った。

FSSCでは、通常の練習時から選考会に出場する選手と出場しない選手を特別に分けて指導を行うことはしておらず、全体のレベルアップのためには全員で練習することが必須という方針で練習を行っている。

渡辺選手も、過去の先輩達と同様に練習を行っており、その成果がでたといえる。

今後は、ナショナルチームとしての練習も増えるところではあるが、利己的にならず、クラブ全体でのレベルアップという部分についても「クラブ」という位置づけのなかでは指導していきたいところである。



アジア選手権出場を希望する渡辺



初日のみ穏やかな風のなかで実施



力走する渡辺選手



強風のなか、運営もかなりの重労働であった

4. 交流

(1) クラブ内交流……クラブ内懇親を目的としたバーベQ大会、忘年会、夜の父兄会等を開催



2007.12.23 クラブ忘年会



クラブ忘年会でピアノ弾き語りをする山下コーチ

(2) クラブ卒業式



森田暁洋は、神奈川ユースでセーリングを継続



大日向喜咲は、唐津へヨット留学。日本を代表するセイラーに育て！

2008年3月8日に、受験も終わり高校へ進学するクラブ員の卒業式を実施。本年度は4名が卒業した。
このうち、森田暁洋、長栄万里、長栄雄大は他クラブからの移籍ではなく、藤沢市の広報紙をみて応募し、FSSCでヨットをはじめた。FSSCで育ったオプティセイラーが初めて卒業する式でもあった。



長栄万里は、大船高校へセーリング継続は検討中



長栄雄大も、大船高校へセーリング継続は検討中



5. サポート活動

(1) レース運営

2008年度は、従来の山下杯に加えて、KSA F、FYAと共催で「春風ヨットレース」を新たにクラブで主催。各レース準備を行うなかで、クラブ員同士の交流を深めるとともに、レース運営におけるノウハウの習得に努めた。その結果、2009年3月に実施されたOP NT最終選考会の運営にも携わり、滞りなく運営を行うことができ、レース運営ノウハウの蓄積を行うことができた。



賞品の「藤沢野菜」を箱に詰め込む



レース運営もクラブ員父兄を中心に多方面の協力を得る中で実施

(2) サポート体制充実に向けて

父兄のセーリングへの理解促進を目的として神奈川県セーリング連盟主催のERS資格講習会及びB級ジャッジ更新講習会にコーチ・父兄が参加。計測やルールに関する知識の取得と、準計測員やB級ジャッジの資格更新に努めた。



2009.4.4 ERS資格講習会

6. 今後のクラブの課題

(1) 活動場所の確保

- ①陸上での指導(座学等)
- ②船具ロッカーに入らない備品置場

(2) クラブメンバー数の拡大対応

- ①コーチ
- ②練習艇(現状5艇)
- ③運営支援者

(3) クラブ員の増加に伴う安全な艇置場の確保

(4) クラブ員の成長に伴うOP級の次のクラスへの移行

- ①クラブ艇の確保
- ②置き場
- ③指導者
- ④レスキュー体制

(5) 遠征における費用補助

7. 2009年度 クラブ役員 (敬称略)

NO	役職	役割	氏名
1	代表	クラブの代表者	貝道
2	事務局	会費、その他活動費、補助金等の経費管理、クラブ運営管理	
		事務局長	長栄
		副事務局長	榊原
3	指導者代表	クラブ会員のセーリング訓練を監督・指導	
		正コーチ	山下
		副コーチ	宮本
		父兄コーチ	小林、伊藤、榊原
4	レース委員	クラブ員のレース参加サポート、レース運営協力調整、遠征計画	
		クラブ対応レース	渡辺
		通常レース	伊藤
5	レスキューボートメンテ委員	レスキューボートのメンテナンス、艇置場の整理	津久井 (正)、大森 (副)
6	機材管理委員	機材 (アンカー、ロープ他各種備品)、クラブ艇の管理と調達	
		① 木工等の制作モノ ② その他 (機材管理調理、フック艇)	津久井、森田 小林、伊藤
7	渉外委員	OP協会、FYA、藤沢市、湘南港、関水連、他フリート等との連絡窓口	
		OP協会・FYA・湘南港・藤沢市 関東水域連合会・JJYU	榊原 伊藤
8	世話役委員	新会員の指南、忘年会・壮行会等の宴会モノ企画実施 等	小林 (正)、渡辺 (副)
9	保護者代表	上記の役職につかない会員保護者代表、会務の監査	国見
10	相談役	クラブ員のよろず相談	山口
11	山下杯実行委員		伊藤実行委員長、小林副実行委員長
12	春風ヨットレース実行委員		渡辺実行委員長
13	ガソリン・会議室会計	クラブ経費から一定金を預かり、ガソリン購入、会議室精算を実施	渡辺
14	機材会計	クラブ経費から一定金を預かり、機材購入の際に精算実施	津久井
15	クラブ艇補修担当	クラブ艇のメンテ、補修及び会員への補修指導	伊藤、大森、榊原 (雄父)、沖